

2026 年 9 月 3 日
株式会社日立製作所

データセンターインフラの統合運用を実現するソリューション「HMAX Data Center」を提供開始

フィジカルAIにより電力・IT・冷却設備などを自律的・統合的に運用し、データセンターの安定稼働やコスト最適化に貢献



HMAX Data Center全体像

株式会社日立製作所(以下、日立)は、持続可能なデータセンターの実現をめざし、データセンターを構成する電力・IT・冷却設備などの各領域を横断し、AIを活用した自律運用・保守、全体最適化までをワンストップで提供するソリューション群「HMAX Data Center」を、本日から提供開始します。

AIの普及に伴いデータセンター需要が急増する中、サーバーの稼働や冷却に伴う膨大なエネルギー消費が社会課題となっています。また、さまざまなインフラ設備が個別に管理されている一方、サーバー処理量と設備負荷は相互影響し、インフラ運用が複雑化・高度化しているため、運用効率化や安定稼働はデータセンター運営の重要課題となっています。

HMAX Data Centerは、この課題を解決するために、IT・OT・プロダクトを併せ持つ One Hitachi の強みを生かして、戦略SIB ビジネスユニット主導のもとで開発・体系化されたソリューション群です。今回第一弾として、中核となるデータセンター統合管理サービス「HARC for Data Center」を開発し、北米向けに提供開始します。具体的には、グローバルで 80 社以上のお客さまのクラウド運用改善実績を有する「HARC¹」を核に、日立グループの設備運用ナレッジとフィジカル AI を組み合わせることで、さまざまなベンダーの電力・IT・冷却設備の統合監視、設備を跨いだ障害の相関分析と対策、そして運用改善までを伴走支援するものです。本サービスをベースとして、日本向けには、国内ニーズを取り込んだ新たなデータセンター統合管理サービスを 2027 年 1 月から提供開始予定です。

今後、日立はお客さまやパートナーとの協創を通じて、フィジカル AI と運用ナレッジを活用したサービスラインアップを順次拡大する計画です。系統電力から自家発電・蓄電・放電までのエネルギー活用の最適化、冷却制御の効率化、障害の予兆検知、IT ワークロード最適化による処理の最大化、キャパシティ管理による設備利用の最適化など、データセンター全体の最適化をめざします。日立は、日立エナジーが有するグローバル No.1 のエネルギープロダクトやソリューションをはじめ、日立グループが有する広範なデータセンター向け製品・サービスと HMAX Data Center を組み合わせることで、データセンターの自律的・統合的な運用を支援し、お客さまや社会の AI トランスフォーメーションの進展に貢献していきます。

*1 Hitachi Application Reliability Centers(HARC)について: <https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/articles/harc/index.html>

日立製作所 執行役専務 戦略 SIB ビジネスユニット CEO 谷口 潤のコメント

「持続可能なデータセンターの実現には、各設備の運用改善だけではなく、システムを横断したインフラの統合制御が必須です。日立グループは、エネルギー・冷却・IT ワークロード管理など、データセンターインフラにおける製品やサービス、運用知見までを横断的に有する、数少ない企業です。さらに、データセンターの運営やクラウド運用を通じてお客さまの業務を日々支え、そこから得た知見を、運用サービスの高度化に継続的に反映しています。HMAX Data Center の提供は、こうした独自の強みを Physical AI として結集し、データセンターの新たな運用モデルを実現するための第一歩です。私たちは、お客さまやパートナーと共にデータセンター運用の高度化を実現し、AI 時代のデジタル社会に貢献していきます。」

サービスの特長

HMAX Data Center は、AI で社会インフラを革新する次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi」の新たなカテゴリーです。今回提供するデータセンター統合管理サービス「HARC for Data Center」は、「プラットフォーム＋サービス」のアプローチにより、日立の運用・保守スペシャリストがお客さまと連携しながら、統合運用プラットフォームを活用して運用品質の向上を支援するものです。これまでお客さまのクラウド運用費を 30%程度削減してきた HARC のノウハウと実績を基盤としており、本サービスを通じてデータセンターにおいても同等の価値提供をめざしています。

電力・冷却設備や IT インフラ、エネルギー管理・安全セキュリティ・環境監視などのシステムの運用データを収集・統合することで、データセンター全体の統合的なオブザーバビリティ(可観測性)を提供します。データセンター全体の IT と OT 両方のセキュリティを統合監視するダッシュボードや、日立のドメインナレッジを活用したセキュリティ異常検出ルールにより、安全かつ信頼性の高い運用を支援します。

障害発生時には、AI による異常検知と HARC による電力・IT・冷却設備にまたがるデータの横断的な分析により、設備異常の予兆、運用リスク、サービス影響を早期に把握するとともに、アラートや設備状態、インフラ・システム間の相関分析を通じて、異常検知から根本原因の特定、対応策の提示、エスカレーションから復旧までを支援します。

また、事後分析レポートの作成や継続的改善活動を支援し、再発防止と運用レジリエンスの向上やデータセンター全体のサービスレベル向上に貢献します。

「HMAX Data Center」データセンター統合管理サービスの価格と提供時期

サービス名	提供開始時期	サービス内容	提供価格
HARC for Data Center	北米：2026 年 9 月 3 日 提供元：Hitachi Digital Services	電力・IT・冷却設備の統合監視、AI による障害分析と対策、運用改善を伴走支援するサービス	個別見積

※日本国内向けのデータセンター統合管理サービスは、2027 年 1 月から提供開始予定

Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN での紹介について

本ソリューションは、日立が 2026 年 9 月 3 日(木)～4 日(金)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN」の展示会場「EX01: 環境調和型社会を創生する日立のデータセンターソリューション」および「EX16: AI 時代のデータセンター課題を解決する運用最適化ソリューション」においてサービスのデモなどをご紹介します予定です。詳しくは、公式サイト(<https://www.service.event.hitachi/register/>)をご覧ください。

関連 Web サイト

[HMAX | Lumada](#)：日立

商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティブインダストリーズの4セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略SIBビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumadaをコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025年度(2026年3月期)売上収益は10兆5,867億円、2026年3月末時点で連結子会社は606社、全世界で約29万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.com/ja-jp/をご覧ください。

お問い合わせ先

HMAX Data Center お問い合わせ窓口

hmax-dc@hitachidigital.com